

令和 2年 3月 16日

文化庁 共同研究事業事務局 御中

機 関 名 鳥取大学地域学部

代表者名 川井田 祥子

文化庁・大学等共同研究事業成果報告書

文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業について、下記のとおり報告します。

公募型共同研究

提案型共同研究

1 名 称	文化芸術による社会的包摂の在り方に関する研究
2 期 間	平成31年 4月 19日 から 令和 2年 3月 31日まで
3 研究成果	<p>1. イタリア・ボローニャにて、精神障害者たちによるプロフェッショナルなアルテ・エ・サルデーテ劇団の監督やスタッフ、およびエミリア・ロマーニャ州の地域保健連合機構精神保健局を訪問し、劇団設立の経緯や運営、当事者たちの変化などに関してインタビュー調査を実施した。</p> <p>2. ロンドン五輪の文化プログラムにおいて主軸の一つとなったアンリミテッドが今なお継続している理由を明らかにすべく、イギリスの障害者アートおよび障害者運動の歴史に関する文献調査を行った。</p> <p>3. 国内の先駆的事例調査として、アートセンター画楽（高知市）、NPO法人SWING（京都市）等の取り組みを調査した。</p> <p>4. 上記1～3の調査内容および考察結果をとりまとめ、拙著『障害者と表現活動：自己肯定と承認の場をはぐくむ』（水曜社）を3月末に刊行する。</p>
4 その他	<p>*文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業についてのご意見、ご要望等ありましたらこちらにご記入ください。</p>